

伝染病について



- 下記のような疑いがある病気は必ず専門医の治療を受けましょう。
- 伝染症は、症状が軽くなっても完全に治りきらぬ内は、伝染源となりますので、医師の許可証を持参させてください。

病名	登園停止期間	主要症状
はしか	主要症状が消えてから七日を経過するまで	発熱、咳、くしゃみ、目やに、風邪に似たような症状、コプリック班
風疹 (三日はしか)	主要症状が消えてから五日を経過するまで	風邪のような発熱、発疹、頭・
流行性結膜炎	発病してから10日間	目の結膜が赤くなりぶつぶつが見られ、まぶたも腫れ、涙が出たりする。
とびひ	みずぶくれ、ただれが完全に治るまで	大きな水ぶくれ、破れる、皮膚がただれる
耳下腺炎 (おたふく)	発病してから1週間ぐらい	発熱、頭痛、食欲不振、耳たぶの下と前後の腫れ
百日咳	特有の咳が消えるまで	日増しにひどくなる咳、粘っこいたん、ヒューヒュー音がする。
水疱 (みずぼうそう)	かさぶたが全部とれるまで	粟粒大の水泡の発疹、軽い発熱
伝染性下痢症	主要症状が消えるまで	発熱、腹痛、便の回数が多い、粘血便
インフルエンザ	主要症状が消えてから、三日を経過するもの	発熱、嘔吐、食欲不振、下痢、関節痛
急性出血性結膜炎	眼科医の指示による(4~5日感染する)	まぶたの腫れ、結膜のむくみ
ヘルパンギーナ	医師の指示による	発熱、口の中に水泡ができる
咽頭結膜熱 (プール熱)	充血がとれ、目やにが出なくなるまで	突然 39℃前後の発熱、咽頭炎・結膜炎
突発性発疹	4~5日で自然に治るがその間、冷静をとる	突然 39~40℃の発熱が3日間続き、下がるとともにばら色の小さな発疹が出来る
溶連菌感染症	主要症状が消失するまで	発熱の後、首・胸・股に淡紅色の発疹ができる。扁桃腺の腫れ
感染性紅斑 (りんごほっぺ病)	医師の指示による	微熱程度の発熱。両頬に発疹(左右対象の紅斑)